

1 研究主題

教育の情報化を目指す学習指導の研究と実践

2 実践活動

(1) 市教育研究集会

ア 日時 平成27年4月14日(火) 14:10~15:10

イ 場所 八幡浜市立八代中学校

ウ 内容

(ア) 役員選出

(イ) 今年度研究主題について

(ウ) 研究計画の作成

(2) 夏季実技研修会

ア 日時 平成27年7月23日(木) 13:30~16:00

イ 場所 八幡浜市立保内中学校

ウ 内容

(ア) ラインズeライブラリの研修

- ・ ドリル教材や図鑑・百科事典などの様々な教育コンテンツを専用サーバから受信して利用するサービスであり、基礎的・基本的内容の定着と分かる授業作りに効果的に活用できる。
- ・ ドリル学習では、国語、算数・数学、理科、社会、英語の問題が、小・中学校合わせて約60,000題ある。また、ランダムに出題されるので、繰り返し学習ができたり、他の学年の問題にも挑戦したりすることができる。

(イ) コラボノートの研修

- ・ コラボノートは、ユーザー間で同時に書き込みができるソフトであり、写真や文書等を入れた寄せ書きが簡単に作成できる。
- ・ ユーザー全員で書き込みをしたり、グループ単位で書き込みをしたりすることができ、発表資料作成や調べたことを一つにまとめる学習を効率的に行うことができる。

(ウ) 情報交換

- ・ ソフトを活用した学習の進捗状況に合わせて、保護者への啓発も必要となってくる。
- ・ eライブラリのドリル学習とプリントは連携しており、習熟度に応じて活用することが効果的である。

(エ) タブレット端末を活用した授業研修

- ・ 前時の学習内容を簡単に振り返らせ、次時への意欲を高める活用方法が効果的である。
- ・ 授業者の手元で児童生徒の入力画面を確認して、活動の状況を把握することができる。

3 成果と課題

学校に導入されているソフトウェアの効果的な活用方法を学ぶことができた。コラボノートでは、個々にまとめるだけでなく、一枚のシートを複数の児童生徒でまとめることで、効率のよい発表資料作成ができた。また、発表資料を発表し合う過程でも、効果的な指導ができることを実感した。さらに、ドリル学習を積極的に活用することで、基礎的・基本的内容の定着に効果が上がることを再確認した。現在導入されているソフトウェアを十分に活用した指導が、情報・視聴覚教育部員の教員にとどまらず、より多くの教員が活用できるように各校で一層の研修を進めていくことが求められる。

本市におけるタブレット端末の活用としては、体育科の授業研究会で、児童生徒の興味関心に応じた活用やよりよい動きを高めるための指導の在り方についての実践が報告された。しかし、学校への組織的な導入には、まだ至っていない現状にある。今後は、タブレット端末等を始めとする新しい情報機器の活用方法について、一層の研修を積み上げていくとともに、他市町の導入状況や活用効果の情報を収集し、本市の教職員の意見をまとめるなどして、タブレット端末の活用を研究していきたい。

